

漱石のころ



[漱石のころ 下载链接1](#)

著者:赤木 昭夫

出版者:岩波書店

出版时间:2016-12-21

装帧:新書

isbn:9784004316336

漱石がロンドンで文学論を構想したその思考過程から、彼の文学の着想、核心が見えてくる。読者の意識、社会集団の意識をつかむ文学がその時代の精神を表す。この一大計画の〈政治体制篇〉が『坊っちゃん』、〈倫理思想篇〉が『こころ』となった。皮相上滑りの開化にしないための漱石の予言が現代の読者のもとに鮮やかに蘇る。

「…ともかく僕は百年計画だから構わない」。彼が期待した読みは果たしてなされてきたか。『こころ』の基礎である『文学論』から漱石の哲学を見抜く。読者の意識、社会集団の意識をつかむ文学がその時代の精神を表す。“政治体制編”『坊っちゃん』、“倫理思想編”『こころ』、大江健三郎『水死』まで一漱石の遺言に初めて答える。

作者介绍:

赤木 昭夫（あかぎ あきお、1932年3月17日-）は、日本の科学史家、評論家、翻訳家。

目录: 第1章 『坊っちゃん』の諷刺
第2章 明治の知の連環
第3章 ロンドンでの構想
第4章 文学は時代精神の表れ
第5章 エゴイストの恋
第6章 私を意識する私はどこに
第7章 『こころ』の読まれ方
・ ・ ・ ・ ・ ([收起](#))

[漱石のこころ_下载链接1](#)

标签

赤木昭夫

夏目漱石

评论

[漱石のころ 下载链接1](#)

书评

[漱石のころ 下载链接1](#)